



キッズニアのフロア

化学物質を適切に評価・管理するために



わたしたちの身のまわりでは、さまざまな化学物質が利用されています。化学物質の中には、人の健康や動植物に有害な影響をおよぼすものがあるので、これらの化学物質を作ったり使ったりするときには、適切に管理をする必要があります。

化学物質の持つ悪影響は、どんな基準で評価されているの？

わたしたちの生活を便利なものになっている化学物質の中には、人の健康や自然に悪い影響をおよぼすものもあります。そのような悪影響をおよぼすおそれを評価し、その程度に応じた管理を行うことが必要です。

人間が作る化学物質については、作ったり外国から輸入したりする前に、人の健康や動植物への悪影響がないか評価しています。すでに国内で広く使われている化学物質についても、国と企業などが協力をして、評価しています。

化学物質に関する法律のポイント

～有害な化学物質による環境汚染の防止を目的として～

評価

新しい化学物質の製造・輸入に際して、

- ① 自然の中で分解するか？
 - ② 生きものの体の中に蓄積するか？
 - ③ 人の健康や動植物に悪影響をおよぼすおそれがあるか？
- を製造・輸入の前に評価する。

管理

評価結果や、すでに国内で広く使われている化学物質の安全性点検の結果をふまえ、物質の特性に応じた製造・輸入・使用に関する管理を行う。



あざやかな色で印刷するインキにも、化学物質はとて役に立っています。



キッズニアでは…

「印刷工房」パビリオンで、子どもたちは、活版印刷機を使って、ポストカードを完成させます。パソコンでポストカードをデザインしてから、活版印刷機を使って印刷します。印刷のために、化学物質を応用したインキは欠かせないものです。



キッズニア甲子園の「印刷工房」パビリオンのようす (写真提供：株式会社キッズシティージャパン)

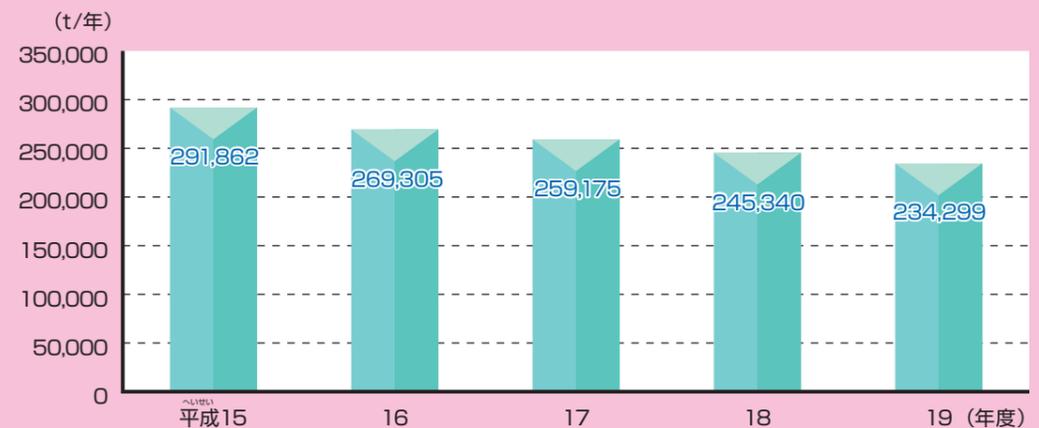
もっとくわしく!

平成21年版環境・循環型社会・生物多様性白書のP8～P9、P231～P242を見てね。

危険な化学物質は、どのように管理しているの？

長い間環境の中にとどまり、人の健康や動植物に大きな害をおよぼす化学物質については、製造・輸入・使用を禁止しています。また、環境中にたくさんあると人の健康や動植物に害をおよぼす可能性のある化学物質については、作ったり輸入したりする量を届け出なければなりません。環境中に放出されないよう、きまりを作り、企業などに守ってもらっています。こうした規則を強化した結果、環境中の化学物質の排出量は減ってきています。また、一部の企業などからは、化学物質の大気や水、土壌への排出量などが報告されています。

PRTR制度により届け出された環境への排出量 ～規則を強化した結果、年々減少している～



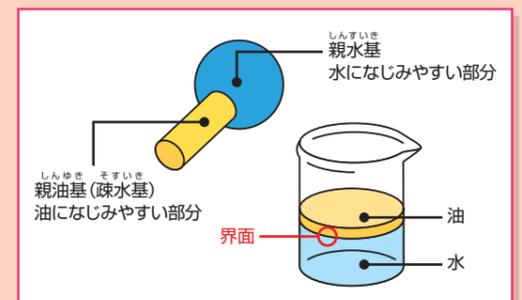
注：PRTR制度は、特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (資料：PRTR届出データ)

いくら便利でも、まちがった使い方、捨て方をすると、環境や人の健康に悪い影響をあたえるから、注意しましょう。



なるほど TOPICS 汚れを落とすのを助けてくれる「界面活性剤」

洗剤を使うと汚れが落ちるのは、洗剤の中に、汚れを落としてくれるはたらきのある「界面活性剤」などの化学物質が入っているからです。「界面」とは、物と物の境目という意味で、水と油のようにまざり合わない液体の境目などをさします。界面活性剤には、このような境目にくっついて、水と油をまざりやすくするという性質があります。この性質を利用して、クリームなどの化粧品や薬など、いろいろなものに使われています。



界面活性剤の構造